

注意報

注意報

注意報

注意報

注意報

6 3 6 1 - 1 0 1 0

平成 2 3 年 6 月 1 6 日

各関係機関の長

各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成 2 3 年度病害虫発生予察注意報第 1 号について

平成 2 3 年度病害虫発生予察注意報第 1 号を発表したので送付します。

平成 2 3 年度病害虫発生予察注意報第 1 号

平成 2 3 年 6 月 1 6 日

宮 崎 県

病害虫名 いもち病（穂いもち）
作物名 早期水稻

1．発生地域 県内全域

2．発生程度 やや多

3．発生状況と注意報の根拠

ア．6月中旬の巡回調査における葉いもちの発生面積率は46.9%（平成18.4%）、発病度は1.8（平成1.5）で、いずれも平成比やや多の発生である。全県下での発生程度は少発生であるものの、ほ場の一部では「ずり込み症状」も見られる。止葉や次葉に発生した葉いもち病斑は穂いもちの主要な伝染源となるため、出穂後の穂への感染が懸念される。

イ．今年水不足の影響で老化苗での移植が多く、活着不良により中干し後に葉色が濃くなっていることから、本病の発病に注意が必要である。

ウ．今後の天候は、平成と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平成並または高い確率ともに40%と予想されている。（鹿児島地方気象台6月10日発表1ヶ月予報）

エ．アメダスデータを利用したいもち病発生予測システム（BLASTAM）によると、5月から6月にかけて県内各地で感染好適日が出現しており、今後も発生の拡大が予想される。

表 - 1 6月中旬の葉いもち発生状況

区分	調査地点数	程度別発生面積率（%）			発生面積率（%）	発病度
		甚	多	中 少		
全県	32	0.0	0.0	0.0 46.9	46.9 (18.4)	1.8(1.5)

()内は平成値

4．防除上の注意

- ア．穂いもちを対象に、穂ばらみ後期と穂揃期の防除を徹底する。
- イ．上位葉に進展している場合や、出穂期及びその後も降雨が続いて穂いもちの発生が予想される場合には、穂揃期の7～10日後に追加防除を行う。
- ウ．雨の多い時は雨間散布を行い、防除適期を失しないようにする。
- エ．天候により無人ヘリによる共同防除を行う事ができない場合もあるため、その際には広域の集団一斉防除に努め防除効率を高める。
- オ．穂肥の施用に当たっては、イネの生育状況を考慮し適切に行う。

5．その他

- ア．防除薬剤等その他の詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、病害虫防除・肥料検査センター等の関係機関に照会すること。
- イ．なお、農薬の使用についてはラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守する等厳重な注意を払うとともに、危被害防止に努める。また、周辺作物の栽培状況等に留意し、地域全体で農薬のドリフト防止に努める。

連絡先

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 中村

:0985-73-6670 Fax:0985-73-2127

E-mail:byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp